

EUREKA	輝線で観る銀河進化最盛期の銀河周辺物質	日下部晴香	372
	電子捕獲型超新星の光度曲線と判別手法	佐藤大仁	387
	多波長観測で探る急成長中の超巨大ブラックホール	小淵紗希子	394
雑報	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書 <i>Final Adjustments of the Solar Flare Sounding Rocket Experiment FOXSI-5 at White Sands Missile Range</i>	吉田有佑	401
	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書 <i>Peering through an Opaque ISM/Visit to the University of Milano-Bicocca</i>	伊藤茉那	403
	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書 <i>Exploring the Sun at High-Resolution: Present Perspectives and Future Horizons</i>	大場崇義	405
書評	光学機械設計ハンドブック オプトメカニカルデザインの 実用的手法	山 響	407
月報だより・寄贈図書リスト			408

【表紙画像説明】

銀河の中心に存在する超巨大ブラックホールの想像図。ブラックホールは周囲の物質を引き寄せて成長し、ガスが円盤状に回り込む構造（降着円盤）や、その内側に広がる高温ガス領域、さらに一部の物質が高速で噴き出す「ジェット」を形成する。その過程で生じる強い放射は、可視光や紫外線、X線、電波など、さまざまな種類の電磁波として観測される。

【今月の表紙デザイン】

梅雨をイメージした傘と、今年6月の天体イベント「金星と木星の接近」をモチーフに描きました。金星も木星も太陽の周りを一定周期で公転しているため、地球から定期的に見える現象です。傘の左側にぶら下がる形で木星と金星を描きました。金星（右側）の方が地球に近いので、少し大きく見えるそうです。